

ランチョンセミナー 2

2月19日 (木) 11:50 ~ 12:40

第2会場 (Conference Hall B)

角膜再生医療の展望

～臨床データからの洞察～

座長のことば

眼科領域における再生医療等製品は、2020年の自家培養上皮シート「ネビック」、2021年の自家培養口腔粘膜上皮シート「オキュラル」から始まり、現在全国的に実施施設が増加し始めています。再生医療という新たな治療法が定着しつつある中で、治療方針や施術後の管理を中心に、先生方は工夫を重ねておられることと思います。このたび、ネビック・オキュラルに関するPMS (Post Marketing Surveillance) 評価委員会を立ち上げ、使用成績調査の結果について評価・検証をおこないました。今回はその集計結果の報告に加え、施術後の中期的な治療成績についてご講演いただきます。角膜再生医療の臨床データから洞察し、臨床課題や今後の展望について眼表面治療に携わる先生方と一緒に考えてまいりたいと思います。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

座長



Kohji Nishida

西田 幸二先生

大阪大学大学院医学系研究科
脳神経感覚器外科学(眼科学) 主任教授

演者



Yoshinori Oie

大家 義則先生

大阪大学大学院医学系研究科
脳神経感覚器外科学(眼科学) 講師

ネビック・オキュラルの
承認後実臨床での治療成績
～PMS評価委員会より～

東大病院における
オキュラル治療評価
～術後の管理・処置について～

演者



Takashi Miyai

宮井 尊史先生

東京大学医学部眼科学教室 准教授